



令和5年度9月

P

T

A

神奈川県立秦野総合高等学校

第7号

9月7日(木)に全校生徒を対象とした交通安全教室が実施されました。

まずは、各ホームルーム教室で交通事故防止を目的としたリーフレットを読み、事前学習をしました。



スケアードストレイト

事前学習の後は、グラウンドに移動し、無数のトンボが飛び交う曇天の下、スケアードストレイトが行われました。普段耳にしない言葉ですが、スケアードストレイトとは「スタントを通じて事故の衝撃(再現)を視覚的に理解する事」という意味です。



目の前でスタントマンによる自家用車と自転車の衝突事故再現は、全校生徒が身を乗り出すほど衝撃があり、スタントマンの容態を気遣う緊迫した場面(演技)もありましたが、危機感のある演出も迫力そのものでした。



令和5年4月1日から自転車ヘルメット着用が努力義務化され、ヘルメット着脱・スマホ・傘差し運転などの事故再現で自転車運転ルールを改めて見直す良いきっかけとなりました。

交通安全講話

スケアードストレイトの後は、体育館へ移動し警察職員による講話や、動画クイズが行われ、盛り上がりながら学べる貴重な時間となりました。



令和5年中(1月から8月末まで) 秦野市内の人身交通事故状況			
区分	令和5年	令和4年	前年
発生件数	173件	209件	
死者数	2人	1人	
負傷者数	205人	245人	
歩行者事故	46件(前年比+5件)		増成比
自転車事故	31件(前年比-13件)		増成比
高校生事故	11件(前年比+2件)		増成比

